

令和4年度 公立大学法人北九州市立大学評価委員会（第1回）議事要旨

1 開催日時 令和4年4月19日（火）10:00～11:30

2 開催場所 オンライン会議（北九州市役所5階プレゼンルーム）

3 出席委員（五十音順：敬称略）

井上 洋美、権頭 喜美恵、勢一 智子、安浦 寛人、吉谷 愛

4 議事内容

（1）北九州市立大学の組織及び業務全般の見直しについて（見直し方針）

ア 事務局から、北九州市立大学の組織及び業務全般の見直し（見直し方針）について説明。
審議の結果、「適当である」との意見を全会一致で決定。

（2）第4期中期目標（素案）について

ア 事務局から、第4期中期目標（素案）について説明。

イ 主な意見、質疑応答

（委員）北九州市において、起業家精神を有する人材は比較的多い方かと思うが、幹部候補がいない。スタートアップしやすい街として、起業家精神を理解して起業家を支える人材の育成を目指してほしい。

（委員）脱炭素は世界的な目標でもあり、日本政府も力を入れた目標設定をしている。その中で北九州市は、全国の自治体のトップを走る取組を続けており、その方針は当然大学も共有することになる。コストの課題はあるが、大学として研究、議論に加え実践することも重要であり、市の後押しとなるような取組を大学に考えていただきたい。

（委員）就職が地元企業でなくとも、都内の企業やグローバル企業に就職し、北九州市に住み市民税を納めていただければ、ある意味良いのではないか。労働市場の多様化に対応した形で地元就職率を見ると、学生の働く可能性はより広がる。

（委員）現在、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う避難民の受け入れや、電気料金等の値上がりの懸念が生じている。一般的に、自然災害や疫病、戦争の3つは世界的に影響の大きな事象であり、大学がこれらに柔軟に対応できる構造にしておくことは重要。変化する世界情勢に柔軟に対応する体制について、目標に反映できないか。

（委員）国立大学は、法改正により理事会と教育・研究に携わる者との役割分担がなされ、また、ある私立大学では理事会と学長以下の対立等が起きている。次期中期計画について、学長と理事長の役割を分けて作成することも可能か。

（事務局）中期計画において、学長と理事長の役割を分けて作成してもらうことは可能と考えている。

（委員）中期目標は、実勢に合わせ、適宜、機動性・柔軟性を持つべきであるが、市の見解はいかがか。

（事務局）6年の間に世界情勢が大きく変わる可能性は十分にある。何か大きな変化があれば、目標を変更することもあると考えている。